

企業短期経済観測調査（道北[※]地域分）
（調査対象企業数：道北[※]40社）

※上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内
回答社数構成比 %ポイント

（判断D、I。） 計表中の2025年12月以降の計数は、2026/3月調査対象企業見直し後の新ベース。 （ ）内は前回調査時予測

	2024/12月	2025/3月	6月	9月	12月	2026/3月	2026/6月 までの予測
業況判断 < 良い - 悪い >	10	11	15	13	10	(3) 5	-5
うち製造業	0	0	12	12	0	(0) -12	12
非製造業	14	14	17	14	12	(3) 9	-10
国内での製商品・サービス需給 < 需要超過 - 供給超過 >	0	-6	-3	-2	-8	(-8) -13	-13
製商品在庫水準 < 過大 - 不足 >	11	4	7	0	-4	0	
生産・営業用設備 < 過剰 - 不足 >	-5	-8	-8	-8	-10	(-10) -10	-10
雇用人員 < 過剰 - 不足 >	-49	-45	-47	-51	-59	(-56) -46	-49
資金繰り < 楽である - 苦しい >	10	5	8	5	-5	5	
金融機関の貸出態度 < 緩い - 厳しい >	27	20	20	14	17	15	
借入金利水準 < 上昇 - 低下 >	50	72	45	38	29	(38) 65	47
販売価格 < 上昇 - 下落 >	35	39	39	41	43	(46) 36	38
仕入価格 < 上昇 - 下落 >	59	61	61	46	65	(65) 64	77

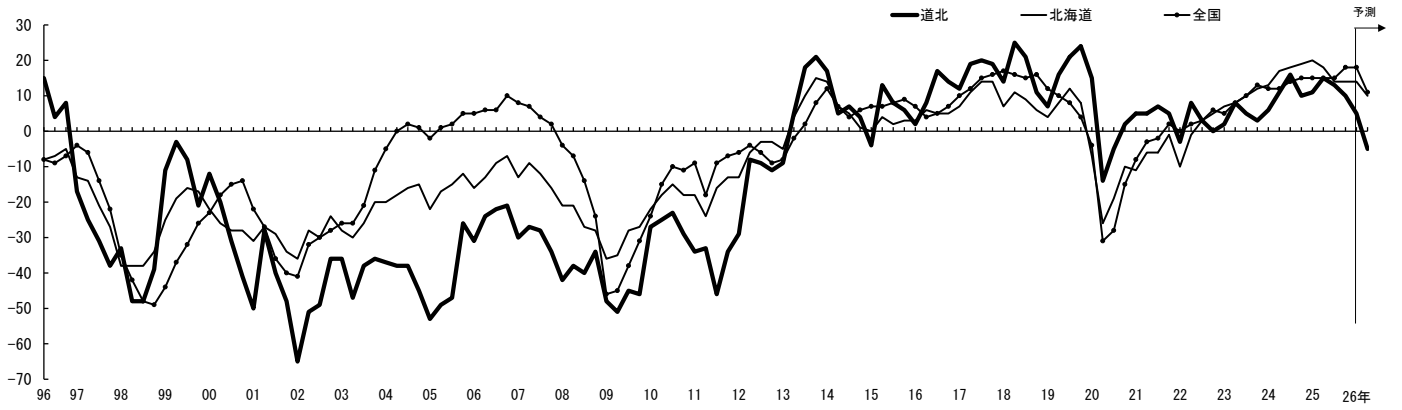
（事業計画）

全産業、前年度比%、
< >内は前回調査比修正率%

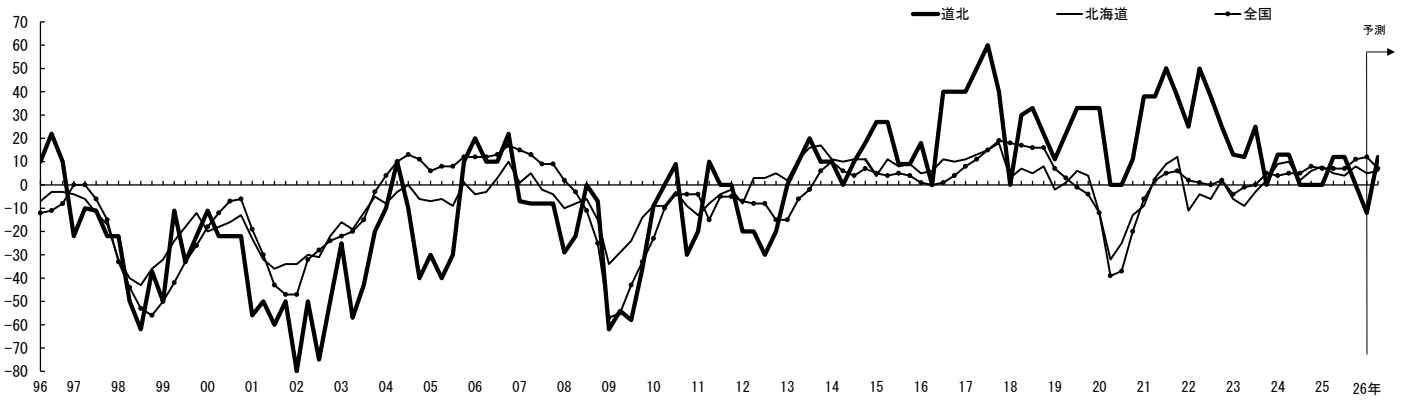
	2024年度実績	2025年度実績見込				2026年度計画		
		上期	下期	上期	下期	上期	下期	
売上高	-2.5	-3.6 < -1.0 >	-3.0 < 4.7 >	-4.2 < -5.6 >	-0.8	0.3	-1.8	
経常利益	-11.7	-24.2 < -7.5 >	-8.3 < -9.9 >	-34.5 < -5.2 >	-7.5	-23.1	6.7	
当期純利益	-24.9	-45.4 < -24.6 >	-54.4 < -33.6 >	-39.9 < -19.7 >	61.6	2.1倍	40.4	
設備投資額	-17.9	18.6 < -2.7 >			-19.0			

2026年3月短観・調査結果

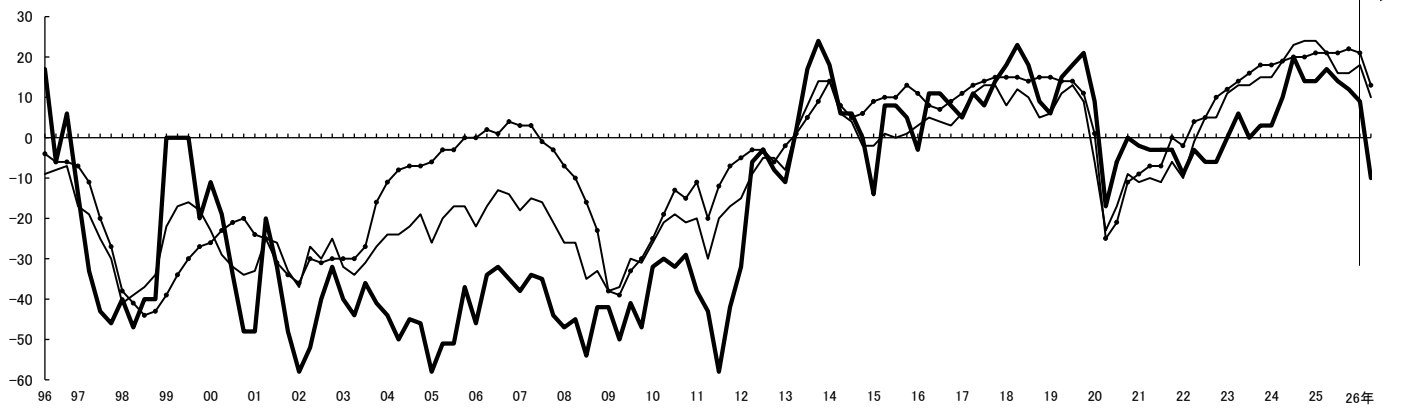
業況判断D. I. (「良い」 - 「悪い」、%ポイント)



同 (製造業)



同 (非製造業)



(注) 道北は、上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内。
2025年12月以降は、調査対象企業見直し後の新ベース。

道北地域の企業短期経済観測調査結果（2026年3月）の概要

- 調査対象企業数：道北地域 40 社（製造業 8 社、非製造業 32 社）
- 回答率 100.0%（有効回答社数 40 社）
- 回答期間：2026年2月26日～3月31日

1. 業況判断 DI

- 3月の業況判断 DI（全産業ベース、DI：%ポイント<以下同じ>）は、+5 となり、前回 12 月調査から悪化した（前回+10、前回比-5）。
 - 製造業の業況判断 DI は、-12 と前回調査比悪化（同+0、同-12）。
 - 非製造業の業況判断 DI は、+9 と前回調査比悪化（同+12、同-3）。
- 先行きの業況判断 DI は、悪化を見込み、-5 との予測（3 月実績+5⇒6 月までの予測-5）。
 - 製造業は改善（同-12⇒+12）を見込み、非製造業は悪化（同+9⇒-10）を見込む。

2. 各種判断 DI

- 「製商品・サービス需給判断 DI<需要超過-供給超過>」（前回調査-8⇒今回調査-13）は、供給超幅が拡大した。
- 「製商品在庫水準判断 DI<過剰-不足>」（同-4⇒0）は、不足超幅が縮小し過不足なしとなった。
- 「生産・営業用設備判断 DI<過剰-不足>」（同-10⇒-10）は、不足超幅が横這いとなった。
- 「雇用人員判断 DI<過剰-不足>」（同-59⇒-46）は、不足超幅が縮小した。
- 金融環境についてみると、「資金繰り判断 DI<楽である-苦しい>」（同-5⇒+5）は、苦しい超から楽である超になったほか、「金融機関の貸出態度判断 DI<緩い-厳しい>」（同+17⇒+15）は、緩い超幅が縮小した。この間、「借入金利水準判断 DI<上昇-低下>」（同+29⇒+65）は、上昇超幅が拡大した。
- 価格面についてみると、「販売価格判断 DI<上昇-下落>」（同+43⇒+36）
「仕入価格判断 DI<上昇-下落>」（同+65⇒+64）はともに上昇超幅が縮小した。

3. 事業計画

- 2025年度の実績見込は、売上高は前年度比 -3.6% 、経常利益は同 -24.2% 、当期純利益は同 -45.4% 、設備投資額は同 $+18.6\%$ となっている。いずれも前回調査から下方修正された。
- 2026年度の計画は、売上高は前年度比 -0.8% 、経常利益は同 -7.5% 、当期純利益は同 $+61.6\%$ 、設備投資額は同 -19.0% となっている。

以 上